

勝浦小学校 4年生の長柄ダム施設見学

平成30年9月19日(水)、勝浦市立勝浦小学校の4年生49名と引率の先生方5名が、長柄ダムへ施設見学に来られました。本施設見学では、普段家庭で使っている水がどこからどのようにして来ているのか、実際の施設を見学していただき、また水の大切さについても学んでいただきました。

組ごとに二班に分かれ、管理棟内でのパワーポイントを使用した概要説明と、堤体上で実際の施設を見学しながらの説明を交互に体験してもらいました。

概要説明では水がどこから送られてくるのか、また、水に関する問題を出題して、水の大切さや長柄ダムをはじめとした房総導水路施設について学んでもらいました。外の説明では洪水吐きや取水塔、揚水機場等について、堤体上で説明を行い、実際にどのような施設であるのか見てもらいました。

見学の最後に、長柄ダムでの施設見学の記念として、実際にダムに来られた方に配布している長柄ダムカードを児童の皆さんにお渡ししました。ダムカードには、表面には上空から見た長柄ダムの写真が、裏面にはダムの概要やちょっとした情報などが記載されています。

今回の施設見学が、今後の学習や生活に役立つようになればと思います。

当事業所では、房総導水路の役割、施設の特徴、水の大切さなどを知っていただくために「施設見学」や「出前講座」を行っております。詳細はお気軽にお問い合わせ下さい。



長柄ダム管理棟での説明



長柄ダム堤体上での説明